

取組概要

明治小学校では、協育コーディネーター、ゲストティーチャー、企業・施設等との連携により各学年に応じた体験活動を実施するとともに、自分の思いや考えを表現することを楽しむことができるよう、各教科等との関連を図りながら学びのつながりを児童が自覚できるように年間を見通した教育活動を実施している。

学校の教育目標を職員も児童も意識しており、特に「気づき、考え、行動する」ことを意識させることで、生活のみならず学習においても気づいたこと、考えたことを発表・表現することにつなげた指導を組織的に行い、指導や評価の軸がぶれないようにしている。

工夫・ポイント

- ◆校内研究テーマ「書いて表現する」の実現に向け、自己チェックシートを活用しながら国語「B書くこと」の単元構想・授業づくりを進めている。
- ◆体験活動の充実により、気づきや考えたことを「書きたい！」「伝えたい！」という児童の意欲の向上につなげている。
- ◆単元配列表の活用・更新を行っている。外部の教育資源の活用や各教科等の関連について、年度の実施状況を朱書きして更新している。

特徴的な活動

- ◆「夢わく祭」を探究的・横断的に学習してきたことの発表の場とし、児童相互の認め合いや参観者の外部評価につなげ、その後の学習活動の充実につなげている。
- ◆大分大学、社会教育施設の専門家との連携を図りながら、各教科等を融合させた学び（STEAM教育）を実施している。

関係者の声

- ◆教育活動の連続性、継続性を担保するため、実践してきたことを教育課程に反映させたり、単元構想として整理していく必要がある。
- ◆多様な可能性を秘めた教育活動が実施されている。児童の成果物を児童間・教員間で共有するなどして、一層の充実を図ってほしい。

「育成を目指す子どもの姿及び資質・能力」と「国語科 B書くこと」についての自己チェック表（6年）
佐伯市立明治小学校

「書くこと」の単元づくりに使ってみました！各学期の単元を記入してみてください。単元が終わったら、自己チェックして自身の現状を見つけてほしい。

研究主題：自分の思いや考えをもち、表現することを楽しみながら、互いに伝え合える子どもの育成
～教科横断的な取組における体験活動と国語科の「B書くこと」をつないだ指導を通して～

	○育成を目指す子どもの姿 ★育成を目指す資質・能力	校内研修における取組 (国語科「B書くこと」を中心に据えて)	教科書の単元名		
			1学期	2学期	3学期
生きて働く「知識・技能」の習得	○「使える知識・技能」を身に付けた子ども (生活面、学習面、学力、体力)	●書く題材は、子どもにとって必然性のあるもの（書きたくなるもの）にする。 ○充実した体験を創り出し、その体験から感じたことや考えたことを「書くこと」へとつなぐ。	・世代による言葉のちがいを ○パンフレットで知らせよう	◎展開を考えて工夫して書くこと ◎読解力のある文章を書くこと	◎卒業文集を書くこと
★自ら学ぶ力の育成	○自分の思いや考えを、目的や意図に応じて「目的意識・相手意識をもって」意欲的に表現できるようにするために、「意欲活動（ゴニール）」を工夫する。 ○「言語活動（ゴール）」を設定するとともに学習過程を示し、そのゴールに向かって、自らの学習を自己調整しながら粘り強く取り組めるようにする。 ○単元計画を作成し、子どもと共有する（壁面に掲示する）。	◆ここで身に付けた「書く力」を他の場面でも使えるように意識して指導する。 ○「情報の収集・内容の検討」の過程では、「集める」「選ぶ」「比較」「分類」「関係付け」等の思考スキルを身に付けられるようにする。	・登壇人物の変化を読み、登場人物の心情を察しよう ◎パンフレットで知らせよう	◎読解力のある文章を書くこと	◎卒業文集を書くこと
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	○自分の思いや考えをもち、自信をもって表現するとともに、互いに伝え合える子ども ★思いや考えを書いて表現することを重視する。 ★思いや考えを伝え合いながら、協働できる力の育成	○「構成の検討」の過程では、「順序（1・2年）」「中心（3・4年）」「考えと理由や事例、原因と結果、疑問と解決などのつながりや配列など（5・6年）」を意識しながら文章全体を構成できるようにする。	◎読解力のある文章を書くこと	◎卒業文集を書くこと	◎卒業文集を書くこと
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の醸成	○互いを認め合える子ども ○自ら課題を見つけ、その課題に向かって粘り強く努力できる子ども ★粘り強く努力できる力の育成	◆「互いに伝え合える場」を設定する。 ・考えを深めるための伝え合い ・書くための「困り」を解決するための伝え合い（協働） ・書いた作品を「共有」する伝え合い →友達の「書きまし方（工夫）」を知る、自分の考えを広げ深める、互いを認め合う。	◎音楽で伝え合おう ・心の世界について話し合おう ◎書評を書いたり話し合おう。	◎卒業文集を書くこと	◎卒業文集を書くこと

自己チェックシートの活用



協育コーディネーターとの打合せ



端末を活用して自分のイメージを音楽で表現する



佐伯・弥生のよさを実感する探究的な学び